

NEWS RELEASE

HITACHI  セブン-イレブン

2026年1月28日

セブン-イレブン店舗における省エネと設備管理の省力化に向け、 AIを活用した日立の空調 IoT ソリューション 「exiida 空調省エネ制御」の実証実験を開始

～ドメインナレッジと先進 AI を組み合わせた次世代ソリューション群
「HMAX for Buildings」で、持続可能な店舗運営の実現に貢献～



日立の空調機器、空調向けソリューション

日立グローバルライフソリューションズ株式会社（以下、日立 GLS。株式会社日立製作所のコネクティビティインダストリーズ(CI)セクター所属）と株式会社セブン-イレブン・ジャパン（本社：東京都、代表取締役社長：阿久津 知洋、以下、セブン-イレブン）は、ドメインナレッジと先進AIを組み合わせた次世代ソリューション群「HMAX for Buildings」の空調向けソリューションのひとつである「exiida 空調省エネ制御」を、店舗の省エネと設備管理の省力化を目的に、セブン-イレブン 48 店舗で実証実験を開始します。

セブン-イレブンでは、社会課題への対応の一環として、環境への負荷を低減する設備の導入や、店舗従業員が働きやすい環境の整備などに取り組んでいます。今回、この取り組みに沿う形で開発した「exiida 空調省エネ制御」は、空調機器の稼働状況をクラウドに集積し、AI により複数の空調機器を適正に制御することで、セブン-イレブン店舗における空調の快適性を保ちながら、消費電力量の削減を支援するソリューションです。さらに、日立独自^(※1)の機能である「凍結洗浄」の自動化も行い、熱交換器の汚れを抑制することで、清掃回数の削減や空調性能の効率維持など、メンテナンス負荷の低減にも貢献します。

本実証実験では、セブン-イレブン店舗における空調機器の消費電力量を約 3 割^(※2)削減することを目指しており、あわせて、空調機器の運転自動化や清掃回数の削減などを通じて、店舗従業員の作業負荷の低減や働きやすさの向上などへの貢献もめざしています。

今後は、空調機器から得られるデータの活用により、フロン漏洩を監視する簡易点検の自動化や、空調機器の故障を予兆・保全する機能などの導入も検討しています。日立 GLS は、Lumada 3.0 を 体現するデジタルサービス「exiida」をはじめとした空調ソリューションの提供を通じて、セブン-イレブンにおける持続可能な店舗運営の実現に貢献していきます。

※1 2026年1月28日（水）時点で、国内で販売されているパッケージエアコンにおいて

※2 セブン-イレブン 5 店舗での PoC(Proof of Concept)から得られた結果を元に算出した日立 GLS の推計値

日立製作所の CI セクターでは、プロダクトの豊富なインストールベース(デジタライズドアセット)のデータにドメインナレッジと先進 AI を組み合わせた産業分野向け次世代ソリューション群「HMAX Industry」を、成長産業へ水平展開する「Integrated Industry Automation」に注力しています。日立 GLS は CI セクターの一員として、「HMAX for Buildings」などの次世代ソリューション群の提供を通じて、フロントラインワーカーの現場を革新するとともに、人々のウェルビーイング向上に貢献します。

日立の空調 IoT ソリューション「exiida」について：<https://www.hitachi-gls.co.jp/products/exiida/>

日立グローバルライフソリューションズについて

日立グループは、IT、OT(制御・運用技術)、プロダクトを活用した社会イノベーション事業を通じて、環境・幸福・経済成長が調和するハーモナイズドソサエティの実現に貢献します。その中で、日立グローバルライフソリューションズは、パーソンとして「ひとりひとりに、笑顔のある暮らしを。人と社会にやさしい明日を。私たちは、未来をひらくイノベーションで世界中にハピネスをお届けします。」を掲げています。家電品、空調機器、設備機器や、エンジニアリング・保守サービスを提供するとともに、フットプリントとプロダクトのデータから価値を創出する Lumada 事業に注力し、ワクトランスマーチンフォーメーションおよびグリーントランスマーチンフォーメーションの実現に One Hitachi で貢献していきます。

詳しくは、日立 GLS のウェブサイト(<https://corp.hitachi-gls.co.jp/>)をご覧ください。

以上